

若手職員的一天（労働基準監督署での勤務）

1



竹内 春輝
平成31年4月採用
名古屋北労働基準監督署
第1方面 労働基準監督官

受験生のみなさんへ

私は大学生のころ、長時間労働やサービス残業が当たり前といった、日本の労働環境に疑問を持ちました。そのことをきっかけに、労働基準監督官という職種に興味を持ち、志望しました。

監督官の仕事は関連法令が複雑な部分もあり、緊張感のある場面もあります。ただ、その分だけ、未払い賃金が支払われた労働者の方からお礼の言葉を頂いたような場面ではやりがいを感じています。

新任監督官には、手厚い研修や周囲のサポートもあり、とても働きやすい環境です。日本の労働環境を守るため、皆さんと一緒に働けることを、楽しみにしています。



名古屋北署は県庁や市役所が立ち並ぶ官庁街にあります。管轄地域に、栄や金山、伏見といった名古屋の主要地が含まれるため、様々な業務があります。

出勤

8:30

出勤後、まずは1日の予定をチェックします。

署内では男性は主にスーツ、女性はオフィスカジュアルな方が多いです。また、労働基準監督官には作業着も支給されますので、必要に応じて、着替えて業務に臨むこともあります。





☞ 窓口には労働者の方だけでなく、使用者の方も来署されます。

多種多様な労働相談に、力不足を感じる場面もありますが、適宜上司や先輩方に相談し、法令に基づいた懇切丁寧な対応を心がけています。



☞ 監督官は、会社に向向く機会も多くあります。1年目は基本的に先輩に同行し、業務を覚えます。

企業のオフィスから工事現場まで幅広く臨検し、法律に定める労働条件の確保に向け、管轄内を駆け巡ります。

10:00

12:00

お昼休憩

13:00

退庁

17:15

☞ 監督署では、電話での相談や問い合わせの対応も行っているため、電話対応も重要です。

直接顔を見たり、書類を見せながら会話できないため、要点を整理し、相手方が理解しやすい説明をするように、常に考えています。



☞ 業務の都合や、緊急時には残業をすることもあります。署全体として残業削減に努めているため、基本的に定時に退庁しています。月に1回以上は有給休暇を取得するマンスリー休暇もあり、労働環境が整っています。



お疲れさまでした！